

東北地域における自生ハマナスの収集

平 田 良 樹

野菜茶業試験場・花き部・緑化植物研究室

Collection of Wild Japanese Rose (*Rosa rugosa*) in the Tohoku Region

Yoshiki HIRATA

National Research Institute of Vegetables, Ornamental Plants and Tea, Ano, Mie, Japan

Summary

Japanese rose (*Rosa rugosa*) is considered to be suitable as a roadside plant in urban areas, if heat tolerance could be introduced into it.

To collect breeding materials from natural habitats, a field investigation in Tohoku and some other regions was carried out in 1990.

Dwarf plants with many vigorous stolons and basal shoots were collected in Aomori and Akita Prefectures. On the other hand, tall plants with a small number of flowers and many dead branches were collected in the southern part of Miyagi and Niigata Prefectures. Tall plants also occurred in Tottori and Ibaraki Prefectures, the southernmost districts along the Sea of Japan and the Pacific coast of Japan for the growth of the plant, respectively.

A total of 101 plant stocks were collected as seeds or cuttings including natural hybrids (*R. × iwara*) between *R. rugosa* and *R. multiflora*. These plant stocks are propagated, evaluated and preserved.

KEY WORDS : Hamanasu, Japanese rose, *Rosa rugosa*, flora, habitat, genetic resources

1. 目的

ハマナスはバラ科に属する落葉低木で、大型のピンクの花を着けるだけでなく、花後の秋には大きな赤い実を結び、長期間の鑑賞にたえることから、新しい緑化植物として注目されている。北欧では既に沿道、法面、中央分離帯など道路緑化を中心に利用(三上 1989)されており、その地では野生化さえしているといわれる。このようにハマナスは耐寒性、耐乾燥性、耐潮性など不良環境耐性を生かした緑化素材として有望であるが、暑さには弱く、我が国での利用促進のためには育種的な耐暑性付与が大きな課題である。ハマナスの主種分布域である我が国において、その遺伝的多様性が調査並びに保存されることなく、最近の海浜開発に伴って自生地

が急速に消失する傾向にあるので、早急な調査・収集を行い、遺伝資源としての活用に資する。

2. 経過及び調査方法

本種の自生分布域は東アジアの温帯、亜寒帯とされ、我が国では、北海道から太平洋側は茨城県まで、日本海側は鳥取県まで、いずれも海岸線に沿った1道14県にわたって連続的に分布（加藤 1989, 奥野 1960, 大井 1978, 佐竹 1989）し、砂丘植生を構成（波田 1988）している。北海道の分布密度がもっとも高いとされるが、これは、自然環境がそれだけ残されている証拠ともいえ、調査に基づいた確たる証拠があるわけではない。青森県内の分布状況については1972年頃の様子が調べられている（阿部 1975）が、その後の自生地の衰退は大きいといわれている。いずれにしても南に下がるほど分布数が少なく、海浜開発の影響を大きく受けていることは事実であろう。

ハマナスは耐寒性が高いことから、北米や北欧の寒冷地の庭園にも栽培可能なバラを育成する際の親としての利用が進み、すでに Hybrid Rugosa の名で多くの品種が育成されている（加藤 1989, MILLAR and SYNGE 1985, 坂西 1985）。しかしこれら園芸品種は耐暑性が不足し、我が国の気候に適應しないものが多く、今後、種間交雑育種においても耐暑性付与が大きな課題であると考えられる。今回の調査・収集地域としては、分布密度が高く、ノイバラ (*Rosa multiflora*) などとの自然交雑種の分布（荒沢 1981, 加藤 1989, 奥野 1960, 大井 1978, 坂西 1985, 佐竹 1989）が知られて遺伝的多様性が期待できる東北地域を中心とし、その他耐暑性育種素材の獲得、並びに緊急性を加味し、それより南方の新潟県や南限とされる鳥取県及び茨城県を追加した。北海道については今回の対象域からはずした。調査地点は Fig. 1 に示すとおりである。

ハマナスはバラ属植物の特長として開花期間が長期にわたり、野外調査には便利である。それぞれの地域における代表個体及び変異個体を選んで果実又は挿し木用の枝を収集することとし、その際、周辺にノイバラがあれば雑種性確認等のためあわせて収集した。

収集結果は Table 1 示すとおり合計101点であった。

3. 収集結果

1) 宮城県・岩手県の海岸

三陸海岸を中心に調査・収集した。

福島県いわき市近辺の海岸は現在はまったく自生が認められず、数地点で調べた海岸にはテリハノイバラ (*R. wichuraiana*) しかみられなかった。

宮城県北部では本吉町大谷海岸にのみ自生地があるとの情報を得て訪れた。ここは小河川の河口砂浜で、約 100 m², 200株が町の手により保護されていた。いずれも樹高 60 cm 程度の立性で、枝枯れが目立つなど、樹勢は弱っていた。

それより北方の三陸海岸になると、数ある入江のうち、自然が残っている所では自生株がみられるようになり、根浜海岸の砂浜及び岩場で3点収集した。三陸海岸の砂浜の中でも規模の

大きい高田松原はかつて大きな自生地であった。しかし、1961年の三陸大津波で大半の株がさらわれたうえ、その後の津波防止用の高堰堤工事によって大半が消滅した。現在植わっている白花を含む株は北海道産とのことである。津波前後の移植株またはその実生株が岩手県園試南部分場及び大船渡市フラワーセンターで保存中であったので、樹勢良好、濃色花株を選んで収集した。

2) 青森県の海岸

下北半島を中心に調査・収集した。

さらに北方の青森県では各所に自生地が広がっており、分布密度も濃いように感想を受けた。三沢市淋代海岸、六か所村大字沖村、同泊などの砂丘地では、砂原から海岸草原又は砂丘林に移行する前面（海岸側）に帯状の大群落を認めた。これら純群落の株は、樹高は30 cm程度と低い、株間は密生し、枝枯れは少なく、生育旺盛であった。花着きも一般に良好であった。一つの群落内の株間では、花色、葉形など形態上の差異がほとんどみられないことから判断し、群落構成はふく枝に由来する栄養繁殖によるものと推定された。残り花もみられたので、花色、花型を参考にしながら樹勢の良いものを選んで収集した。

八戸市種差海岸と東通村尻屋岬は岩の多い海岸である。このような岩場や礫浜では上記のような純群落タイプの自生株が認められなかったが、断崖上のキスゲ、アヤメ、イワユリなどが混じった草場に点々と自生していた。樹高はやや高くなっていた。この両地点及び六か所村大字沖村の3地点ではハマナスとノイバラが混生している場所があった。開花期が過ぎて花形質からの同定はできなかったが、樹形、葉形からノイバラとの雑種 (*R. × iwara*) と推定されるものを発見したのであわせて収集した。

陸奥湾内は砂丘の発達が悪く、海岸線近くまで雑草が侵入している。横浜町の礫浜ではスゲなどの雑草に混じり、樹高が高くなった株が散在する例が多かった。小規模の低性群落を形成するものもあった。いずれも枝葉は健全であった。太平洋側との比較の意味で2点ほど収集した。

内水面となった小川原湖周辺でも自生株が残っていたが、周囲の雑草や灌木に負けて、早晩消滅の運命にあるとみられた。

3) 秋田県の海岸

秋田市周辺、男鹿半島周辺などの日本海岸を調査・収集した。

若美町、秋田市、本庄市の海岸は砂丘地が発達しており、いずれも純群落型の自生地が容易にみられた。しかし、飛砂防備用のクロマツ植栽、又はコンクリートの護岸工事が進んだ所では、かつての群落が寸断され、株は孤立化に向っていた。すなわち、元の植生に代わってハマニクなど丈の高い草種が優先種になり、その結果、ハマナスは日射不足となり、花着き不良、高性化、枝枯れ、そして、もはやふく枝やベールシュートを伸ばすことなく孤立化し、やがては枯死の道をたどるように観察された。したがって本地域で収集したハマナスの樹高は

下北半島に比べて高いものが多い結果となった。

男鹿半島入道崎の崖上草原台地にはハマナス、ノイバラ、及び両者の雑種と推定されるものが混成していたので、3者を収集した。

なお今は内水面となった八郎潟周辺にはハマナスの影をまったく認めなかった。

4) その他の地域

新潟県、佐渡島、鳥取県、茨城県、千葉県を調査・収集した。

新潟県聖籠町は町花をハマナスとしており、町有地海岸で保護しているものの中から代表株4点を収集した。中条町ではさらに積極的に実生株を栽植し、「はまなすの丘」として公園化している場所があり、ここから代表株を5点収集させていただいた。その他の県内には所々にハマナスが散在するといわれている。佐渡島はまだ自然が多く残っており、越の松原、石花、椿尾、素浜の各海岸には小群落または孤立化した株が散見された。この中から10点を収集した。いずれも樹高はやや高いものが多かった。佐渡島からもノイバラとの自然雑種の報告があるが、今回は見付けることができなかった。

鳥取県は日本海側の自生南限地として知られ、耐暑性の点ではもっとも期待が大きい。自生株の後代実生株から種子又は挿し木用の穂を鳥取県果樹野菜試の斉藤氏を通じて入手した。なお県内2か所の自生地（鳥取市白兎海岸、中山町海岸）の環境はいずれも良くなく、保護なくしては消滅の運命にあるとみられた。

茨城県は太平洋側の自生南限地として知られ、耐暑性の点、あるいは鳥取県産との形態上の相違があるか否かを知る上で興味深い材料となる。茨城県園試の浅野氏を通じて種子を入手した。なお県内1か所の自生地（大野村）は現在海岸線から遠く離れ、ここも雑草防除など保護なくしては消滅の運命にあるとみられた。

千葉県犬吠崎にもかって自生があったとの報告があるので、かなり精査したが、岬及び周辺の砂浜にはノイバラ、テリハノイバラが自生するのみで、ハマナスは皆無であった。

4. 材料の今後の受け渡し計画

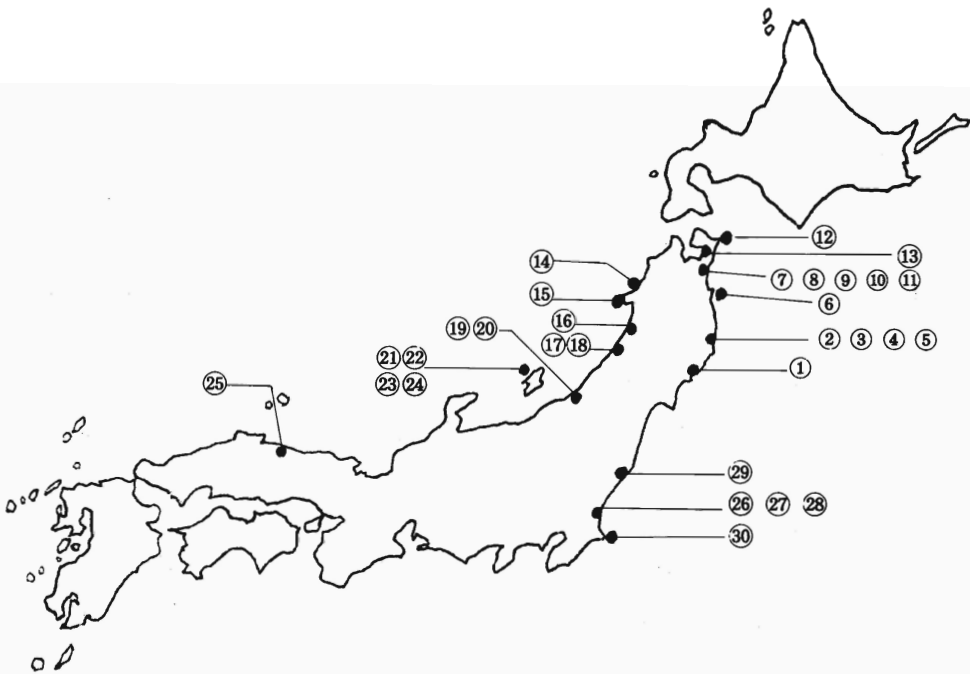
種子については冷蔵後、播種・育苗中である。穂については挿し木繁殖中であるが、多くは活着状態がおもわしくない。いずれも野菜・茶業試験場花き部緑化植物研究室において、増殖、保存並びに特性調査を行い、所定の手続きを経て配布を行う予定である。

5. 所感

収集だけでなく、自生地情報の収集と現状の自生環境についても調査するよう心掛けたつもりである。しかし、過去の情報とはかなり違っている場合が多かった。絶滅危惧種になるにはまだ余裕がある種と思っていたが、そうでもないらしい。日本のウォーターフロントがすべてコンクリート化されるのは時間の問題ともいわれ、「生きた砂浜」で積砂、あるいはとく砂に耐える力を頼りに他種と競争しているハマナスにとっては、このような海岸の人工化とそれに

伴う環境の変化は脅威的であろう。

東北地方など北方の自然砂浜に自生している株は総じてわい性であった。ふく枝で盛んに繁殖していた。南方に下がるにしたがい、とりわけ南限地などでは、樹高が高くなる一方、保護下にあるにもかかわらず株や枝の更新に必須のふく枝又はベーサルシュートの発生が貧弱で、このため花着き不良、枝枯れ、株枯れを生じていた。この違いが温度環境の違いにのみ基づくものか、あるいは長年の自生地拡大の歴史を通じて耐暑性遺伝因子が集積されなかった結果なのか、この点は今後耐暑性ハマナスの育成を考えた場合、おおいに興味あるところである。



図一 調査・収集地点 (地点番号は表一を参照)

Fig.1 Collection sites of *R. rugosa*

(refer Table 1)

謝 辞

下記の方々に調査・収集の協力をいただいた。ここに記して深謝いたします。

宮城県本吉農業改良普及所 岸浪清一技術課長

岩手県園芸試験場南部分場 高橋寿一研究員

岩手県千厩農業改良普及所 菊池靖夫主任

青森県畑作園試 畑井昭一部長

秋田県農業試験場 水越洋三部長, 斉藤洋課長

新潟県園芸試験場 榎並見専門技術員

同県 佐渡農技センター 熊木久逸専門研究員

同県 聖籠町役場 宮下聰産業経済課主任

同県 中条町役場 吉村進係長

鳥取県果樹野菜試験場 斉藤哲特別研究員

茨城県園芸試験場 浅野昭部長

引用文献

阿部典雄 1975. 青森県のハマナス群生地を追って, 西海岸, 津軽半島, 下北半島沿岸のハマナスの分布. 青森農業. 26(2). 44-45.

荒沢勝太郎 1981. ハマナス紀行. ハマナスと人との美しい島. 月間経経往来. 57(9). 231-238.

加藤憲一 1989. バラ属. 園芸植物大事典(相賀徹夫編) 4. 20-43.

三上常夫ほか 1989. グランドカバープランツ. 日本植木協会ポット部会企画・ワールドグリーン出版. 高松市.

MILLAR, S. G. and P. M. SYNGE 1985. The Dictionary of Roses. The Rainbird Publishing Group Lt. collaborated with RHS and Royal National Rose Society. London

波田善夫 1988. 日本列島の風土と植生. 日本の植生——侵略と攪乱の生態学. (矢野悟道編). 1-19. 東海大学出版会.

奥野春季 1960. 原色日本野外植物図譜(2). 39. 誠文堂新光社. 東京.

大井次三郎 1978. 日本植物誌. 顕花篇. 至文堂. 東京.

坂西義洋 1985. バラ. 朝日園芸百科 15, 128-137.

佐竹義輔編 1989. 日本の野性植物 木本 I. 平凡社. 東京.

Table 1. List of collected materials of *R. rugosa* in 1990

1990年度に収集した自生ハマナス一覽

採集No. Collection No.	植物名 Species	採集地名 Locality	採集月日 Date	樹高 Plant height (cm)
892001	<i>R. rugosa</i>	①宮城県本吉町大谷海岸	6.26	60
892002	〃	〃	〃	60
892003	〃	②岩手県陸前高田市高田松原海岸	〃	50
892004	〃	〃	〃	80
892005	〃	〃	〃	80
892006	<i>R. multiflora</i>	〃	〃	80
892007	<i>R. rugosa</i>	〃	〃	100
892008	〃	③岩手県陸前高田市岩手園試南部分場	〃	180
892009	〃	〃	〃	180
892010	〃	〃	〃	180
892011	〃	〃	〃	180
892012	〃	〃	〃	180
892013	〃	〃	〃	180
892014	〃	〃	〃	180
892015	〃	〃	〃	180
892016	〃	〃	〃	180
892017	〃	〃	〃	250
892018	〃	④岩手県大船渡市フラワーセンター	6.27	180
892019	〃	〃	〃	180
892020	〃	〃	〃	180
892021	〃	〃	〃	180
892022	〃	〃	〃	180
892023	〃	〃	〃	180
892024	〃	⑤岩手県釜石市根浜海岸	〃	50
892025	〃	〃	〃	50
892026	〃	〃	〃	50
892027	<i>R. × iwara</i> ?	⑥青森県八戸市種差海岸	〃	100
892028	<i>R. rugosa</i>	〃	〃	40

花型 Flower type & collor	花色等	葉長 Leaf length & width	葉幅	その他特記事項 Note	収集形態 Sampling seed or cutting
一重	ピンク	短	中	町保護下弱勢枝枯れ多発	種子
一重	ピンク	中	狭	町保護下弱勢枝枯れ多発	種子
八重	白	中	中	1961年三陸大津波後北海道産苗を定植した株	生育不良 挿し穂
一重	ピンク大輪	中	中	〃	生育不良 挿し穂
一重	ピンク	中	中	〃	生育不良 挿し穂
一重	白小輪	中	狭	自生ノイバラ	挿し穂
一重	ピンク多花	中	狭	1961年三陸大津波後北海道産苗を定植した株	生育不良 種子
開花済み		長	狭	三陸町吉浜海岸自生株の実生15年生株	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		短	狭	〃	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		長	中	〃	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		長	中	〃	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		長	狭	〃	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		短	中	〃	生育旺盛多毛果 挿し穂
開花済み		短	広	〃	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		短	広	〃	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		中	中	〃	生育旺盛多毛果 種子
開花済み		中	狭	〃	生育旺盛多毛果 種子
一重	ピンク	長	中	三陸町吉浜海岸自生株を移植	生育旺盛 挿し穂
一重	紫	長	中	〃	生育旺盛 挿し穂
一重	紫	中	中	〃	生育旺盛 挿し穂
一重	紫	長	中	〃	生育旺盛 挿し穂
一重	紫	中	広	〃	生育旺盛 挿し穂
一重	紫	長	狭	〃	生育旺盛 挿し穂
開花済み		短	狭	生育不良	種子
開花済み		中	中	生育不良	種子
開花済み		中	狭	生育不良	種子
開花済み		中	狭	自然雑種?	挿し穂
一重	ピンク	短	中	砂浜群落形成株	種子

採集No. Collection No.	植物名 Species	採集地名 Locality	採集月日 Date	樹高 Plant height (cm)
892029	<i>R. rugosa</i>	⑦青森県三沢市小川原湖畔	6.28	40
892030	〃	⑧青森県三沢市淋代海岸	〃	30
892031	<i>R. multiflora</i>	⑨青森県六か所村大字沖村	〃	200
892032	<i>R. rugosa</i>	〃	〃	100
892033	<i>R. × iwara</i> ?	〃	〃	150
892034	<i>R. rugosa</i>	⑩青森県六か所村字泊	〃	30
892035	<i>R. multiflora</i>	⑪青森県東通村山間部	〃	150
892036	<i>R. rugosa</i>	⑫青森県東通村尻屋岬	〃	35
892037	〃	〃	〃	40
892038	<i>R. × iwara</i> ?	〃	〃	150
892039	<i>R. × iwara</i> ?	〃	〃	150
892040	<i>R. multiflora</i>	〃	〃	150
892041	<i>R. rugosa</i>	⑬青森県横浜町陸奥湾内	〃	50
892042	〃	〃	〃	30
892043	〃	⑭秋田県若美町申川油田	6.29	50
892044	〃	⑮秋田県男鹿市入道崎	〃	40
892045	<i>R. × iwara</i> ?	〃	〃	130
892046	<i>R. multiflora</i>	〃	〃	100
892047	<i>R. rugosa</i>	〃	〃	60
892048	〃	⑯秋田県秋田市下浜海岸	6.30	50
892049	〃	〃	〃	50
892050	〃	〃	〃	50
892051	〃	〃	〃	30
892052	〃	⑰秋田県本荘市海岸	〃	30
892053	〃	⑱秋田県本荘市山間部	〃	40
892054	<i>R. multiflora</i>	〃	〃	150
892055	〃	〃	〃	150
892060	<i>R. rugosa</i>	⑲新潟県聖籠町町有海岸	7.25	40
892061	〃	〃	〃	40
892062	〃	〃	〃	40

花型 Flower type & collor	花色等	葉長 Leaf length & width	葉幅	その他特記事項 Note	収集形態 Sampling seed or cutting
一重	ピンク中小輪	短	中	生育不良	種子
7弁花	ピンク	中	狭	群落形成株 奇形花か	挿し穂
開花済み		中	狭	自然雑種?	挿し穂
一重	ピンク	中	中	林内自生株	挿し穂
一重	ピンク小輪	長	狭	自然雑種?	挿し穂
一重	ピンク	短	中	群落形成大株	種子
一重	小輪	短	狭	自生ノイバラ	挿し穂
一重	紫大輪	中	広	岩場自生株 生育旺盛	種子
一重	ピンク	中	中	岩場自生株 生育旺盛	種子
開花済み		長	中	自然雑種?	挿し穂
開花済み		長	狭	自然雑種?	挿し穂
開花済み		短	狭	自生ノイバラ	挿し穂
一重	ピンク多花	長	中	多花(15花)生育旺盛	挿し穂
一重	ピンク	短	広	小群落形成株 花着き不良	種子
一重	ピンク	長	狭	普通株	種子
開花済み		短	中	普通株	種子
開花済み		長	広	自然雑種? 大株	種子
開花済み		短	中	自生ノイバラ	挿し穂
開花済み		中	広	岩場自生株 着花不良	種子
開花済み		中	広	群落形成株 大葉	種子
開花済み		長	広	群落形成株 大葉	種子
一重	紫中小輪	中	狭	花色濃色	挿し穂
7弁花	ピンク	長	狭	奇形花か	挿し穂
9弁花	淡ピンク	短	狭	奇形花か	挿し穂
開花済み		中	中	海岸線から約300m 藪中	種子
開花済み		長	狭	自生ノイバラ 大葉	挿し穂
開花済み		長	狭	自生ノイバラ 大葉	挿し穂
開花済み		—	—	生育不良 少花	種子
開花済み		—	—	生育不良 少花	種子
開花済み		—	—	生育不良 少花	種子

採集No. Collection No.	植物名 Species	採集地名 Locality	採集月日 Date	樹高 Plant height (cm)
892063	<i>R. rugosa</i>	①新潟県聖籠町町有海岸	7.25	40
892064	〃	②新潟県中条町はまなすの丘	〃	50
892065	〃	〃	〃	50
892066	〃	〃	〃	50
892067	〃	〃	〃	50
892068	〃	〃	〃	50
892069	〃	③新潟県佐和田町(佐渡島)越の松原	7.28	60
892070	〃	〃	〃	60
892071	〃	〃	〃	60
892072	〃	〃	〃	60
892073	〃	〃	〃	100
892074	〃	〃	〃	100
892075	〃	④新潟県相川町(佐渡島)石花	〃	40
892076	〃	⑤新潟県真野町(佐渡島)椿尾	〃	60
892077	<i>R. multiflora</i>	〃	〃	120
892078	<i>R. rugosa</i>	⑥新潟県小木町(佐渡島)素浜	〃	80
892079	〃	〃	〃	80
892080	〃	⑦鳥取県産	8.7	-
892081	〃	〃	〃	-
892082	〃	〃	〃	-
892083	〃	〃	〃	-
892084	〃	〃	〃	-
892085	〃	〃	〃	-
892086	〃	〃	〃	-
892087	〃	〃	〃	-
892088	〃	〃	〃	-
892089	〃	〃	〃	-
892090	〃	〃	〃	-
892091	〃	〃	〃	-
892092	〃	〃	〃	-

花型 Flower type & color	花色等	葉長 Leaf length & width	葉幅	その他特記事項 Note	収集形態 Sampling seed or cutting
開花済み		—	—	生育不良 少花	種子
開花済み		—	—	実生栽植株	種子
開花済み		—	—	実生栽植株	種子
開花済み		—	—	実生栽植株	種子
開花済み		—	—	実生栽植株	種子
開花済み		—	—	実生栽植株	種子
開花済み		—	—	生育不良	種子
開花済み		—	—	生育不良	種子
開花済み		—	—	生育不良	種子
開花済み		—	—	生育不良	種子
開花済み		—	—	立生 多花	種子
開花済み		—	—	立生 多花	種子
開花済み		中	狭	低生花着良好	種子
開花済み		短	狭	古株 生育不良	種子
開花済み		短	狭	自生ノイバラ	挿し穂
開花済み		短	中	生育良好	種子
開花済み		中	狭	生育良好	種子
—		短	狭	鳥取産実生株より斉藤氏採集	挿し穂
—		短	狭	〃	挿し穂
—		短	中	〃	挿し穂
—		短	中	〃	挿し穂
—		短	中	〃	挿し穂
—		短	狭	〃	挿し穂
—		短	狭	〃	挿し穂
—		短	狭	〃	挿し穂
—		短	狭	〃	挿し穂
—		短	中	〃	挿し穂
—		短	狭	〃	挿し穂
—		短	狭	〃	挿し穂
—		—	—	〃	種子

採集No. Collection No.	植物名 Species	採集地名 Locality	採集月日 Date	樹高 Plant height (cm)
892093	<i>R. rugosa</i>	㊸鳥取県産	8. 7	-
892094	〃	〃	〃	-
892095	〃	〃	〃	-
892101	〃	㊸茨城県産	12.10	-
892102	<i>R. multiflora</i>	〃	〃	-
892133	<i>R. wichuraiana</i>	㊸茨城県大野村	3.19	10
892134	〃	〃	〃	10
892135	〃	㊸茨城県波崎町	〃	10
892136	〃	〃	〃	10
892137	〃	㊸福島県いわき市塩屋岬	3.20	10
892138	<i>R. multiflora</i>	㊸千葉県銚子市犬吠崎	3.21	100
892139	<i>R. wichuraiana</i>	〃	〃	10
892140	〃	〃	〃	10

Leaf length : 短 under 3.5cm, 中 3.6-4.5cm, 長 upper 4.5cm

Leaf width : Comparison of leaf width to length (w/l)

狭 under 60, 中 -70, 広 upper 70

Sampling : 種子 seed, 挿し穂 cutting

花型 Flower type & collor	花色等	葉長 Leaf length & width	葉幅	その他特記事項 Note	収集形態 Sampling seed or cutting
-		-	-	鳥取産実生株より斉藤氏採集	種子
-		-	-	ク	種子
-		-	-	ク 果実多毛	種子
-		-	-	茨城県産株より浅野氏採集	種子
-		-	-	ク 自生ノイバラ	種子
-		-	-	自生テリハノイバラ	挿し穂
-		-	-	自生テリハノイバラ	挿し穂
-		-	-	自生テリハノイバラ	挿し穂
-		-	-	自生テリハノイバラ	挿し穂
-		-	-	自生テリハノイバラ	挿し穂
-		-	-	自生ノイバラ	挿し穂
-		-	-	自生テリハノイバラ	挿し穂
-		-	-	自生テリハノイバラ トゲナシ変異株	挿し穂